

渡り鳥の観察会

1月19日(火)西荒瀬保育園の「渡り鳥の観察会」を西荒瀬公民館において、年長組園児31名、保育園先生4名、当センター2名、総勢37名で行いました。

はじめにプロジェクターで写真を見ながらハクチョウについて、「どこからなぜ、どのように飛んで来るのか、体や卵の大きさ、鳴き声等」ハクチョウの不思議な生態をクイズ形式で進め、クイズに正解すると園児から元気な歓声が沸き上がりました。

特に、羽を広げた長さは、園児が3人手をつないだ長さであったり、高さは一番背の高い園児が手を伸ばした高さであるなど、体験しながら楽しく学んでいました。

おしまいに、双眼鏡で保育園に隣接する遊々の森【愛称：しんちゃん森】で野鳥を観察しました。

◇ 飛行中の翼と風（気流）の仕組み



(ハクチョウの様にうちわを動かし風の巻き上がりを体験)

◇ オオハクチョウの高さと羽を広げた長さ



(高さは約1.4m、羽を広げた長さは2.5m)

◇ ハクチョウの鳴き声(コオー コオー)



(鳥の音が聞こえる機器で確認)

◇ クイズの正解は・・・



(正解すると大歓声が上がりました)

◇ しんちゃん森の観察



(園長先生と一緒に野鳥観察)

◇ 記念撮影



(今年もよろしくおねがいます)